

2068.9.27 名寄新聞

サービス内容拡充へ

屋根雪下ろし事業で答弁

会委
議査
市審
寄算
名決

【名寄】名寄市議会
決算審査特別委員会
(東川孝義委員長)は

26日午前、民生費、衛生費、労働費、農林業費、商工費で質疑を行った。

佐久間誠議員(市民

連合・凜風会)は、生活保護世帯の現状で「生活困窮者自立支援事業で手立てを講じている一方で、生活保護費は増加傾向にある。貧困層拡大しているのでは」と質問。

田原淳司社会福祉課主幹は、高齢化に伴って生活保護に関わる事業費が増加しているとしながらも、対象世帯は減少しており、貧困

層は拡大していないとした。

同議員は、高齢者支援の屋根雪下ろし対策事業のサービス拡充の考えを質問。

田原主幹は、屋根から雪を下ろすだけでは雪が溶け、落ちた雪の除雪までサービス内容拡充に向けて前向きに検討する考えを示した。

塩田昌彦議員(市政クラブ)は、昨年創設した開業医誘致制度の取り組みを質問。

後藤裕子保健センタ―所長は、北海道医報の広告や医療新聞の記事掲載、東京なよろ会への情報発信などで周知に努力していると

し、現状について「問い合わせは2件あったが、話は進んでいない状況。稚内市では2006年に制度を創設し、誘致できたのが4年後であり、時間がかかる」と認識している。

山崎真由美議員(市民連合・凜風会)は「生活困窮者からの相談に対して見通しが立たない場合もあり、状況に応じて民生委員などとの連携も必要では」と質問。

松田慎司社会福祉課長は、民生委員との連携をはじめ、社会福祉協議会との情報交換しながら支援対応していることを説明した。

高橋伸典議員(公明)は、06年からスタートした肺炎球菌ワクチン接種助成で「有効性は10年程度。当時の摂取者免疫が薄れていると思われるが、認識は」と質問。

渡辺里佳保健センタ―主幹は、国で2回接種の効果や有効性を検証しており、結果を見極めて対応する考えを示した。

川村幸栄議員(共産)は、生活困窮世帯の支援に結びつく小学生の医療費無料化の考えを質問。

西村宣幸ことも未来課長は、保育料の無料化検討や市内保育所施設の老朽化対応などの課題もあるとした上で、「医療費無料化も課題の一つであり、限られた財源で優先順位

を検討する」と答え、果、タヌキと判明した」

(秋元)

現段階では無料化は難しいとした。

川口京二議員(無所属の会)は、無料化した名寄日進地区バス路線の利用状況。

室秀樹営業戦略課主幹は、なよろ温泉サンピラーは高齢者、スキ―場や道立サンピラーパークなどはこどもを中心に利用が大幅に増え、日進地区全体の利用促進に結び付いていることを強調した。

質疑以外では、ヒグマの市街地出没の誤報で臼田進経済部長が「23日正午、大通り南11丁目の民有地で不審な排泄物発見の通報があり、市、警察、猟友会を確認した。だが、目撃情報や足跡、移動の痕跡がなく、専門機関に調査を依頼した結

を説明した。